

# 賃貸住宅こそ地域活性化の旗印

—— 若い世代を集客する「起爆剤」に ——

▶ミサワホームが手掛ける浦安のプロジェクト。賃貸棟に病院を併設する

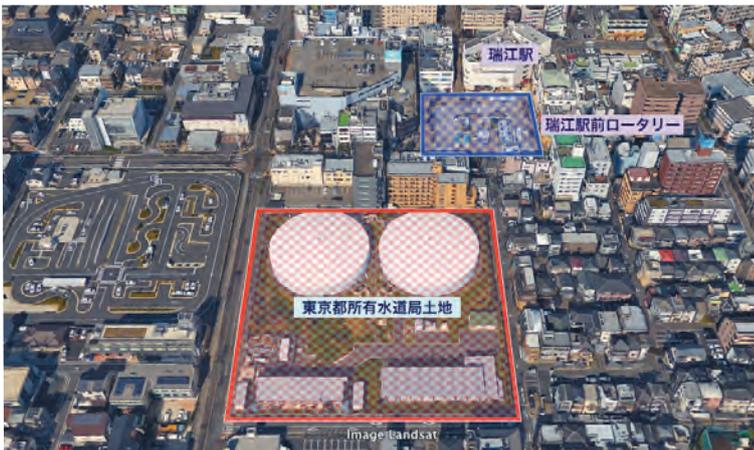


近年の日本における少子高齢化や人口減少そしてその対策の一環である地方創生の一翼を担う「地域の活性化」を考える上で、賃貸住宅は今や不可欠な存在です。なぜならば、売買物件(分譲住宅や分譲マンション等)となると長期間の住宅ローン手続き等が煩雑となり、安易には決断しにくい訳ですが、賃貸物件であれば入居が容易なことから若い世代の人々の集客

にも適しており、賃貸物件を中心とした新たなコミュニティとして商業施設や各種サービス拠点を複合開発する試みが、ミサワホームや東急不動産等の大手企業の主導のもと各地で再開発が(写真参照)実施されているところです。

また、国土交通省は2012年度版の「国土交通白書」を発表し、現在の日本経済の低迷による賃金上昇率の伸び悩みなどを背景に、40歳未満の若い世代で持家比率が低下したとの分析結果をまとめました。つまり今後は増々良質な賃貸住宅の需要が高まることが予想されているのです。

さらに今年、小池新都知事の誕生により、豊洲市場・オリンピック施設等の問題と同様に待機児童解消問題も重要な政策上の案件となっている訳で、東京都としては、都所有の遊休地や有効活用されていない敷地について早急に見直しを行い、子育て関連施設の増設を推進していこうとしているところですが、その様な中で我が都営新宿線「瑞江駅」の南口ロータリーのすぐそばに、東京都水道局の「給水タンク及び大型ポンプ施設」敷地として



◀東急不動産の世田谷中町プロジェクトは、東京都のモデル事業に採択された



◀昨年9月にオープンした「南方騎が原駅」

3,000坪を遥かに超える広さで存在していることを皆様方もご承知のことでしょう。今後この土地についても、有効利用を目的とした再開発が、早期に実施されることを、地元住民としては強く望むところであります。さらにその開発により「瑞江のランドマーク」が完成することで町がさらに発展していくことを切に願うところです。